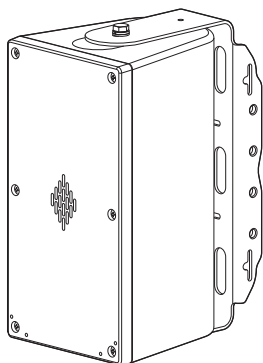


取扱説明書(保証書付)

CWS-20T

防水等級：IEC60529 IPX4 [JIS C 0920]



このたびは、当社の製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

目次

安全上のご注意	1～5	設置のしかた(壁面または軒下・天井)	10～14
特長	5	○壁面または軒下・天井の工事	10
各部の名称	6	○固定金具の取り付け	11
設置の前に	7～9	○スピーカー本体の取り付け	12～14
○落下防止ワイヤーのスピーカーへの取り付け	7	設置のしかた(ポール)	15
○水抜き穴の位置の確認	8	設置のしかた(2台隣接)	16
○UNI-PEXラベルの貼り付け	9	スピーカーケーブルの接続のしかた	17
○角度の調整範囲	9	定格・外観寸法図	18～19
		サポートのご案内/保証書	20

安全上のご注意

必ずお守りください

- スピーカーを設置する際は、この取扱説明書の「安全上のご注意」と設置に関する説明をよくお読みの上、正しく設置工事をおこなってください。
- この取扱説明書はお読みになったあとは、必ず保存してください。
工事業者様へ・・・設置工事終了後、この取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例



△記号は注意(危険・警告)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

異常が起きたときは、ただちに使用をやめ、販売店などに連絡する

煙が出ている、においや音がある、水や異物が入った、落として破損したなど、火災・感電の原因となります。ただちに使用を中止し、販売店などにご連絡ください。



工事は工事店に依頼する

また、高所作業は資格者が行ってください。工事には、技術と経験が必要です。火災・感電、けが、器物損壊の原因となります。工事店にご相談ください。



分解／改造はしない

火災の原因となります。修理や点検は、工事店などにご依頼ください。



質量に耐える場所に取り付ける

取付場所の強度が不十分なとき、落下したりしてけがや破損の原因となることがあります。



ねじや固定機構は標準締め付けトルク※¹で締め付ける

落下などの事故の原因となります。また、ねじの掛かり代を十分に確保し、ねじロックなどのゆるみ防止策を施してください。



定期点検を実施する

専門の業者（技術者）による定期点検を実施し取り付け状態を確認してください。特に経年劣化には充分ご注意ください。異常があれば、ただちに使用をやめ、販売店などにご連絡ください。



落下防止対策を施す

万一の落下によりけがの原因となります。設置状況に合った落下防止策を施してください。



配線は正しくおこなう

ショートや、誤配線により火災の原因となります。



湿気・湯気・ほこりなどの多い場所に設置しない

火災・感電・故障・破損の原因となることがあります。



油成分（油煙・油粒など）の付着しやすい場所に設置しない

取付部が劣化して、落下などの事故の原因となります。



可燃性ガス中で使用しない

爆発する恐れがあります。



塩害や腐食性ガスの発生する場所に設置しない

取付部が劣化して、落下などの事故の原因となります。



振動する場所に取り付けない

振動で金具が破損し、落下によりけがの原因となります。



屋内プールなどの薬剤を使用する場所に設置しない

取付部が劣化して、落下などの事故の原因となります。



過大入力を加えない、長時間音が歪んだ状態で使わない

火災やけがの原因となります。



機器の上に水の入った容器などを置かない

水などが中に入った場合、火災やけがの原因となります。

















スピーカーに異常があったら放置しない

長期にわたって放置すると各部の劣化が進み、落下など事故の原因となります。



※1 標準締め付けトルクについて不明な場合は、弊社ホームページ(<http://www.unipex.co.jp/>)に掲載の「標準締め付けトルク」一覧表をご覧ください。

 警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	
燃えやすい場所に設置しない 火災の原因となります。	
防雪対策を施す 積雪の多い地域では、雪の重みで落下してけがの原因となります。	
水抜き穴は下向きに取り付ける 雨が内部に入り、火災の原因となります。	
ケーブル類は引っ張らない 火災や感電の原因となります。	
スピーカーの前面に人がいない事を確認する 突然大きな音を出すと、けがや事故の原因となります。	

 注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。	
通行などの障害となる場所には設置しない 引っかかったり、当たったりなどしてけがの原因となることがあります。	
この機器に乗ったり、ぶらさがったり、足場代わりにしない 倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。	
配線は、アンプの電源を切っておこなう 感電の原因となることがあります。	
磁気テープなどを近づけない 磁気カードやテープなどの情報が消えます。	
金属エッジで手をこすらない けがの原因となります。	
不安定な場所に置かない 落下など事故の原因となります。	
廃棄は専門業者に依頼する 燃やすと化学物質などで目を傷めたり、火災ややけどの原因となります。	

免責事項について

当社は下記の事項に関して一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- ①お客さまの故意、過失、誤用、その他異常な条件下での使用による損害または本製品の破損など
- ②本製品に直接または間接に関連して生じた、偶発的、特殊的、または結果的損害・被害
- ③本製品のお客さまご自身による修理、分解または改造が行なわれた場合、それに起因するかどうかを問わず、発生した一切の故障または不具合により生じた損害
- ④本製品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、使用ができないことなどによる不便・損害・被害
- ⑤取付場所の強度不十分、取付工事の不備など、本製品の不良・不具合以外の理由による落下などによる不便・損害・被害

お願い

●水抜き穴について

必ず、スピーカーの水抜き穴が下になる向きで取り付けてください。

警告

水抜き穴が下になる向きで取り付ける
・雨が内部に入り、火災の原因となります。



●本機を高所に取り付けて設置する場合

安全に使用していただくために、1年に1回をめやすに、販売店または工事業者による点検をおすすめします。

- ・落下による事故を未然に防ぐため、下記①～④の様な状態ではないか、日常的に確認してください。もしその様な状態を発見されましたら、直ちにアンプの電源を切り（使用中止）、販売店または工事業者に点検や撤去をご依頼ください。特に10年を超えて使用されている場合は、定期点検の回数を増やしていただくとともに買い換えの検討をお願いします。
- ①取付ねじが緩んだり、外れたりしている。 ②取付部が不安定になっていたり、傾いたりしている。 ③本機および取付部が破損したり、腐食したりしている。 ④本機を使用しないで放置している。

●本機を長期間お使いの場合

安全に使用していただくために、販売店または工事業者による定期的な点検をおすすめします。

- ・外観上は異常がなくても、使用条件によっては部品が著しく劣化している可能性があり、故障したり、事故の原因となることがあります。下記①～④の様な状態ではないか日常的に確認してください。もしその様な状態を発見されましたら、直ちにアンプの電源を切り（使用中止）、販売店または工事業者に点検や撤去をご依頼ください。特に10年を超えて使用されている場合は、定期点検の回数を増やしていただくとともに買い換えの検討をお願いします。
- ①煙が出たり、こげ臭いにおいや異常な音がしている。 ②接続コード・コネクター・プラグが異常に熱い。または亀裂や傷がある。 ③本機に触れるとビリビリと電気を感じる。
- ④アンプの電源を入れても音が出てこない、その他の異常・故障がある。

使用上のご注意

- 定格入力は20Wです。次のような信号や過大入力時には、アンプの音量を下げてください。
 - ハウリング音 ○電源スイッチのON / OFF時のショック音 ○アンプの過大入力（過出力）
 - アンプの高低音の上げすぎ（音質調節） ○FM放送の局間ノイズや高域周波数成分を多く含んだ連続音
- 大出力アンプで使用される場合には、過大入力加わらないよう、アンプの音量にご注意ください。
- アンプの入力が大き過ぎたり、音量を上げ過ぎたりしますと、アンプの出力がひずみ、スピーカー破損の原因になることがあります。アンプの入力感度や出力には充分ご注意ください。
- アンプのトーンコントロールやラウドネス、あるいはグラフィックイコライザーを使って低音や高音のレベルを上げてご使用の場合は、通常より大きなパワーがスピーカーに加わりますので、アンプの音量にご注意ください。

防水性能について

- 本機は、IEC60529 IPX4に準拠しています。雨やある程度の水の飛沫がかかるような状況でも使用できるスピーカーです。ただし、水中や強い雨が直接かかるような場所での設置では、水圧がかかり、内部に水が入りますので使用できません。

設置上のご注意

- 本機を取付ける場合は、スピーカーの質量に十分に耐えられる場所、または補強を施した場所へ設置してください。また、取付金具からの共振、異常音がないか充分確認してください。
なお、取付場所の強度不十分、取付方法の不備による事故に対する一切の責任は負いかねます。

接続上のご注意

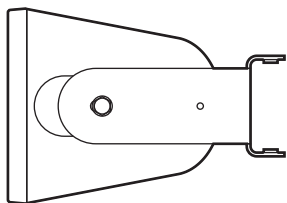
- アンプに接続する際、必ずアンプの電源をOFFにしてください。
電源を入れたまま接続しますと、スピーカーが破損することがあります。
- スピーカーとアンプの極性を必ず合わせてください。
- 入カインピーダンスは500Ω(20W) / 1kΩ(10W) / 2kΩ(5W)です。
接続するアンプの出カインピーダンスを確認してください。

特 長

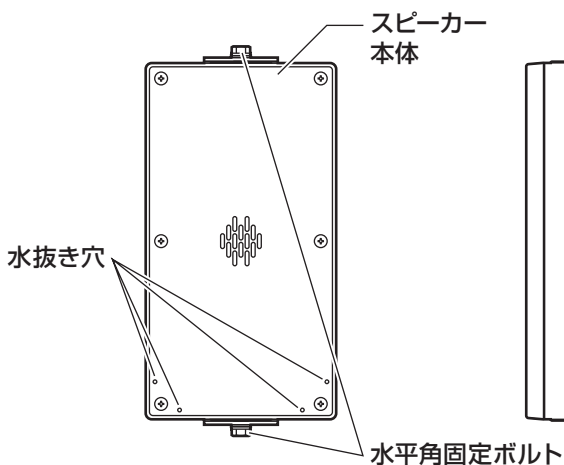
- 新開発のφ10cmダイナミックスピーカーにより、クリアな音の再生が可能です。
- 線状音源理論の採用により、指向性があり、距離に対する音圧減衰が少なく、必要な空間に音声到達が可能です。
- マッチングトランス内蔵（ハイインピーダンス100系）ですので、多数同時使用および延長配線に最適です。
- 取付部品にステンレス製のボルト、ねじ類を採用することにより、耐食性に優れています。
- 「IEC 60529 IPX4」に準拠した防滴形スピーカーです。
- 落下防止ワイヤーの取付金具があるため、落下防止ワイヤー（別途調達）の取付が可能です。

各部の名称

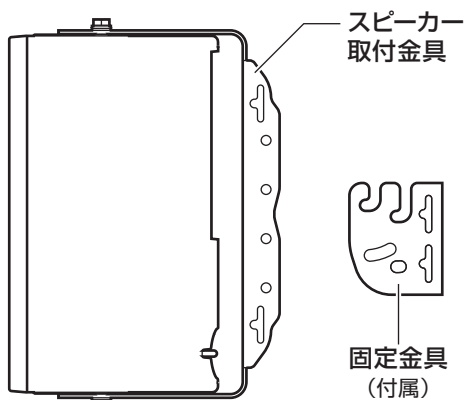
■上面



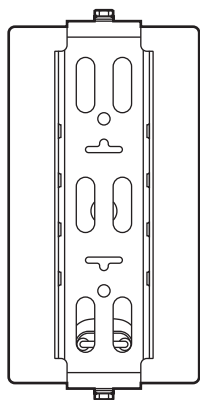
■前面



■右側面

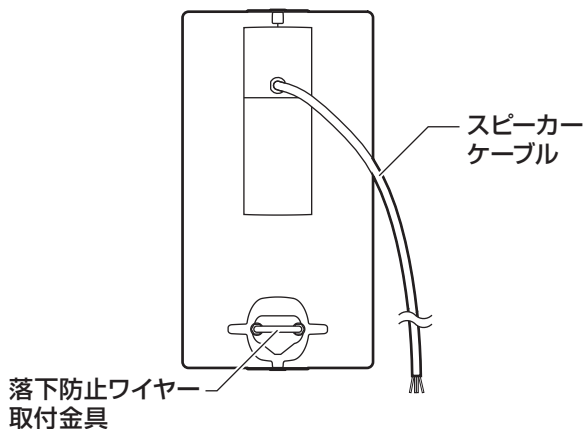


■後面



■後面

(スピーカー取付金具を外した状態)

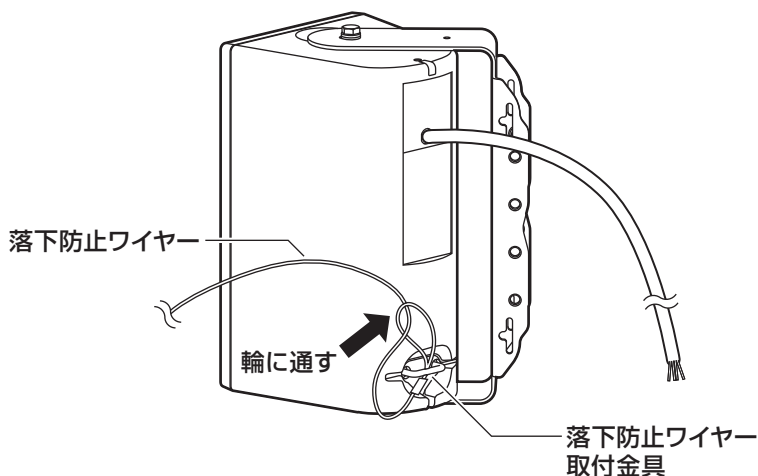


設置の前に

落下防止ワイヤーのスピーカーへの取り付け

落下防止ワイヤーの選択および施工については、専門の技術者にご相談ください。

- スピーカーを長期間取り付けて常設する場合は、万一の落下事故防止のため、必ず設置状況に合った落下防止ワイヤー（別途調達）の施工を行ってください。
 - ・落下防止ワイヤーは、本機後面の落下防止ワイヤー取付金具に取り付けてください（下図参照）。
 - ・落下防止ワイヤーは、最小限の長さのものを使用し、たるみがない状態で設置してください。また、万一の落下時の振れなどを考慮して、安全な位置に取り付けてください。
 - ・建造物側には、万一の落下時、質量に充分耐え得る強度のある所に落下防止ワイヤーを確実に取り付けてください。強度が足りない場合、落下し、けがや事故の原因となります。
- ねじを締めるときは、ばね座金やネジロック（Loctite®242など）といった緩み止めを使用することをおすすめします。



設置の前に

水抜き穴の位置の確認

- 必ず、本体前面下部の水抜き穴が下になる向きで設置してください。

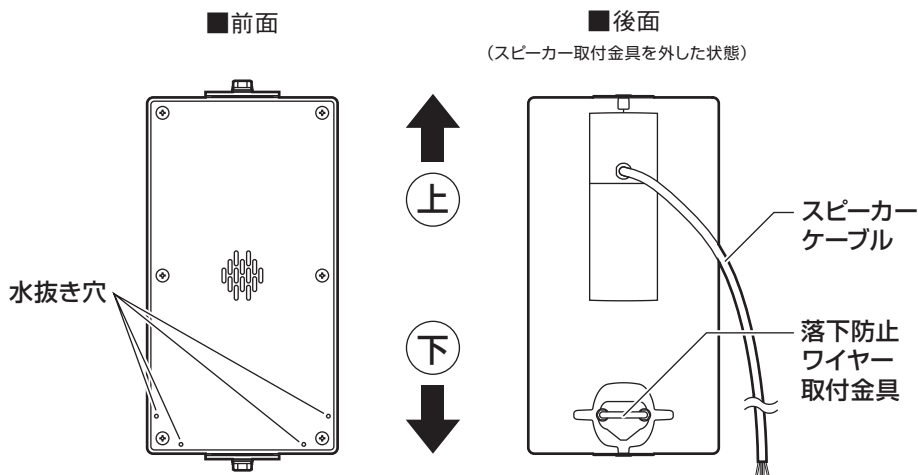
⚠ 警告

水抜き穴が下になる向きで取り付ける
・雨が内部に入り、火災の原因となります。



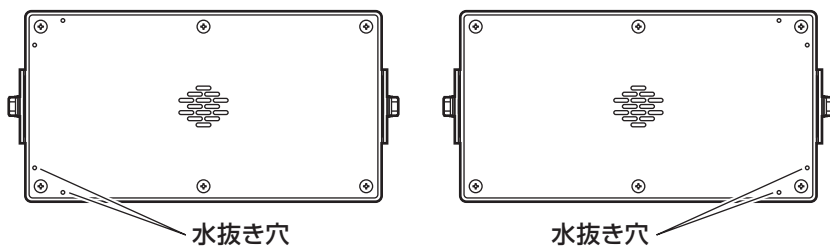
■縦向きに取り付ける場合

- 上下の向きについては、後面の各部の位置を参考にすると分かりやすいです。



■横向きに取り付ける場合

- 必ずいずれかの水抜き穴が下になるので、上下の向きを意識する必要はありません。

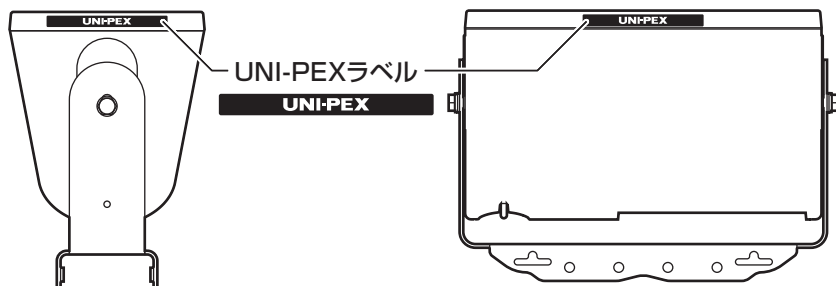


UNI-PEXラベルの貼り付け

●本体を取り付けた際に、下側になる面に貼り付けます。

■縦向きに取り付ける場合

■横向きに取り付ける場合



角度の調整範囲

●スピーカー取付金具と固定金具の角度調整範囲は、下記の通りです。
設置可能範囲を確認のうえ、工事してください。

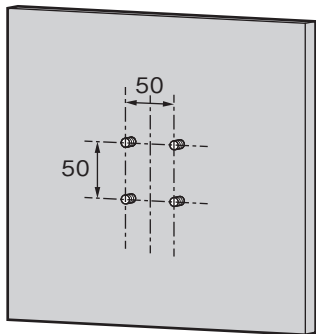
角度調整範囲		
縦向き使用の場合	横向き使用の場合	軒下・天井使用の場合
<p>水平：左右90°</p> <p>90° 90° 0° (上面図)</p>	<p>水平：左右0°~30°</p> <p>0° 0° 30° 30° (上面図)</p>	<p>垂直：下向き左右90°</p> <p>90° 90° 0° (側面図)</p>
<p>垂直：下向き0°~30°</p> <p>0° 30° (側面図)</p>	<p>垂直：下向き0°~90°</p> <p>0° 90° (側面図)</p>	<p>90° 90° 0° (側面図)</p>

設置のしかた（壁面または軒下・天井）

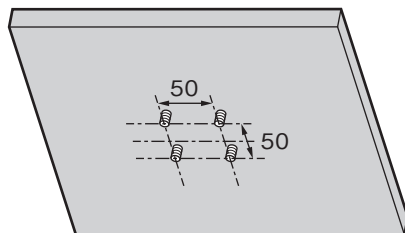
壁面または軒下・天井の工事

- 下図を参考にして、設置する場所の建築基材部分にアンカー、M8またはW3/8を4本（固定金具用）を取り付けます。

■壁面取付（縦向き使用）の場合

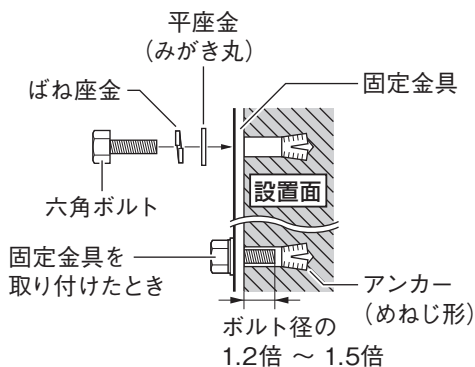


■軒下・天井取付の場合



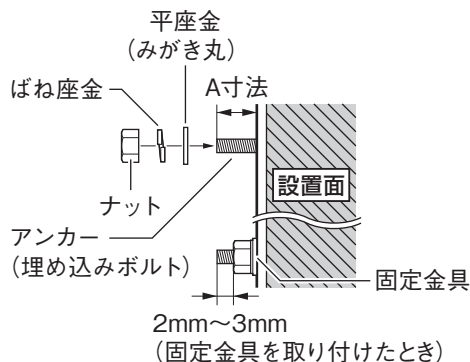
■アンカーがめねじ形の場合の六角ボルトの長さ

- 六角ボルトの長さは、ボルト径の1.2～1.5倍以上のかん合長さを確保してください。
- 六角ボルトがアンカーの底に当たらないなど、確実に締め付けられていることを確認してください。
- ばね座金を使用して、必ず緩み止めを行ってください。
- 六角ボルトは、メーカーが指定する作業基準に従い、抜け緩みがないよう十分に注意して取り付け、ばね座金のすき間がなくなるまで、十分なトルクで締めてください。



■アンカーが埋め込みボルトの場合のねじ推奨凸量 (A寸法)

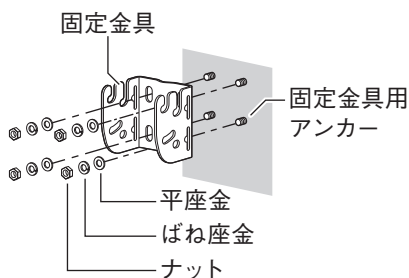
- 固定金具を取り付けた際、A寸法がナットを貫通して2mm～3mm程度の余裕があることを確認してください。
- ばね座金を使用し、必ず緩み止めを行ってください。
- ナットは、メーカーが指定する作業基準に従い、抜け緩みがないよう十分に注意して取り付け、ばね座金のすき間がなくなるまで、十分なトルクで締めてください。



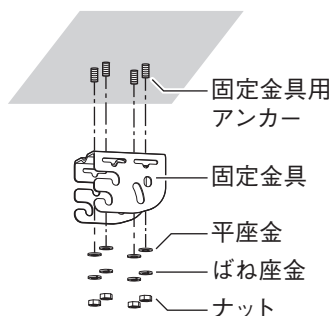
固定金具の取り付け

- 固定金具 (付属) を、壁面または軒下 (天井) に取り付けます。アンカーにしっかりと固定してください。
- 締め付けたあとは、固定金具がしっかりと固定されていることを確認してください (ナット、平座金、ばね座金は全て、現地調達です)。

【壁面】



【軒下 (天井)】



アンカー用のナットは、メーカーが指定する作業基準に従い、抜け、緩みのないよう、十分に注意して取り付けてください。

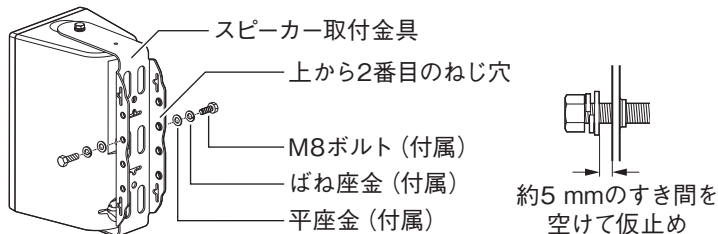
設置のしかた (壁面または軒下・天井)

スピーカー本体の取り付け

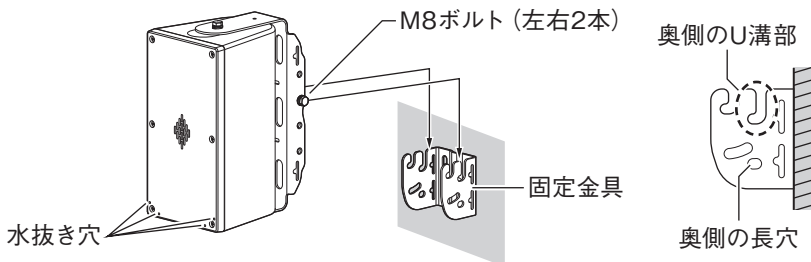
- スピーカーの垂直方向の振り角によって、作業が異なります。
- 必ず、本体前面下部の水抜き穴が下になる向きで設置してください(8頁参照)。

■垂直方向 下向き0°～5°の場合

- ①スピーカー取付金具側面の上から2番目のねじ穴に、M8ボルト(付属)を左右2本仮止めします。



- ②固定金具の奥側のU溝部に、①で仮止めしたM8ボルト(左右2本)を引っ掛けます。



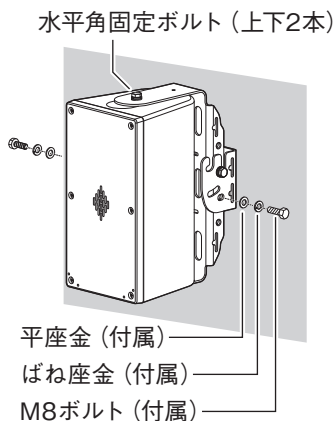
M8ボルトが固定金具のU溝部に確実にはまり込むまでは、スピーカー本体から手を離さないでください。

- ③スピーカー本体および設置場所に、落下防止ワイヤーを取り付けます(7頁参照)。
- ④M8ボルト(付属)左右2本を、U溝部の下にある奥側の長穴で仮止めし、スピーカー本体の角度を調整してから、しっかりと締め付けます。
- ⑤①で仮止めしたM8ボルト2本を、しっかりと締め付けます。

【推奨締付トルク: 12.5 N・m {127.5 kgf・cm}】

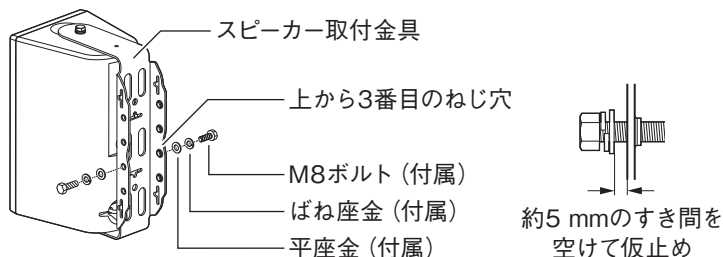
- ⑥水平方向の角度を調整し、スピーカー上下の水平角固定ボルト2本をしっかりと締め付けてください。

【推奨締付トルク: 12.5 N・m {127.5 kgf・cm}】

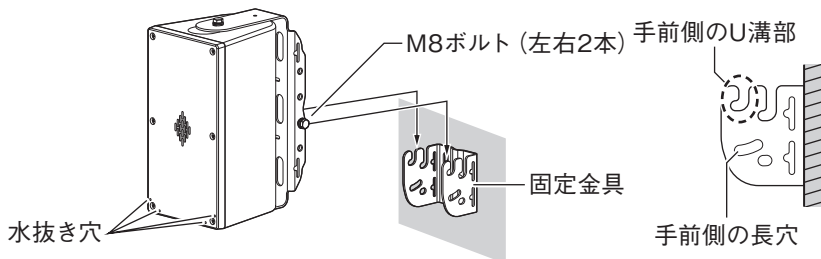


■垂直方向 下向き5°～30°の場合

- ①スピーカー取付金具側面の上から3番目のねじ穴に、M8ボルト（付属）を左右2本仮止めます。



- ②固定金具の手前側のU溝部に、①で仮止めたM8ボルト（左右2本）を引っ掛けます。



M8ボルトが固定金具のU溝部に確実にハマり込むまでは、スピーカー本体から手を離さないでください。

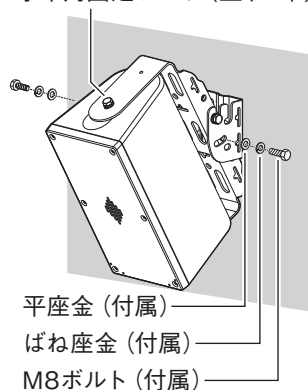
- ③スピーカー本体および設置場所に、落下防止ワイヤーを取り付けます（7頁参照）。
- ④M8ボルト（付属）左右2本を、U溝部の下にある手前側の長穴で仮止めし、スピーカー本体の角度を調整してから、しっかりと締め付けます。
- ⑤①で仮止めたM8ボルト2本を、しっかりと締め付けます。

【推奨締め付トルク：12.5 N・m {127.5 kgf・cm}】

- ⑥水平方向の角度を調整し、スピーカー上下の水平角固定ボルト2本をしっかりと締め付けてください。

【推奨締め付トルク：12.5 N・m {127.5 kgf・cm}】

水平角固定ボルト（上下2本）

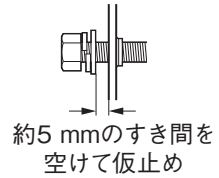
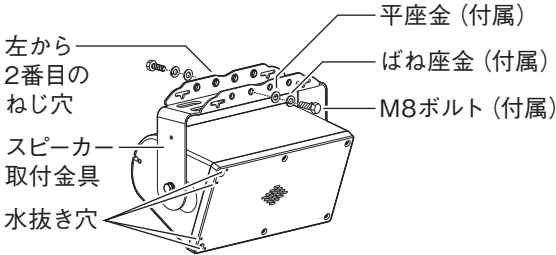


設置のしかた (壁面または軒下・天井)

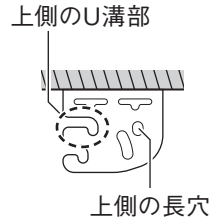
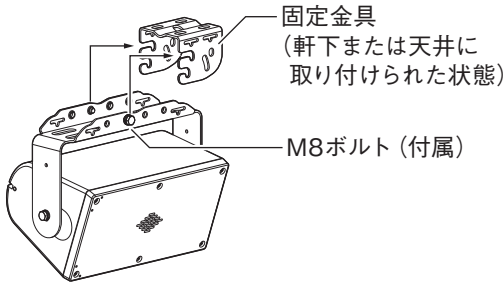
■軒下 (天井) 取付の場合

●固定金具のU溝部が向かって左側にあるときの取り付け方を例に説明します。

- ①下図のように水抜き穴を左側にした状態で、スピーカー取付金具側面の左から2番目のねじ穴に、M8ボルト (付属) を前後2本仮止めします。



- ②固定金具の上側のU溝部に、①で仮止めしたM8ボルト (前後2本) を引っ掛けます。



M8ボルトが固定金具のU溝部に確実にハマり込むまでは、スピーカー本体から手を離さないでください。

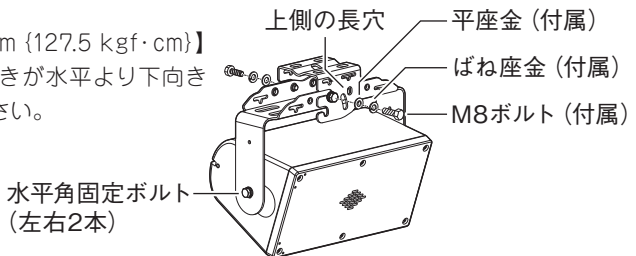
- ③スピーカー本体および設置場所に、落下防止ワイヤーを取り付けます (7頁参照)。
④M8ボルト (付属) 前後2本を、U溝部の右側にある上側の長穴でしっかりと締め付けます。
⑤①で仮止めしたM8ボルト前後2本をしっかりと締め付けます。

【推奨締め付トルク: $12.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $127.5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ }】

- ⑥垂直方向の角度を調整し、スピーカー左右の水平角固定ボルト2本をしっかりと締め付けてください。

【推奨締め付トルク: $12.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $127.5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ }】

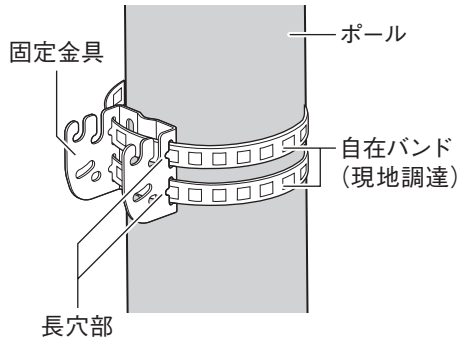
必ず、スピーカー前面の向きが水平より下向きになるように設置してください。



設置のしかた (ポール)

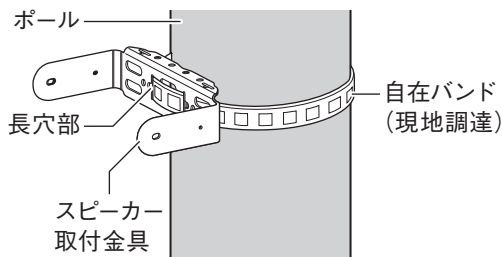
■縦向きで取り付ける場合

- 必ず、本体前面下部の水抜き穴が下になる向きで設置してください(8頁参照)。
- ①自在バンド(現地調達)を2本用意します。
- ②固定金具(付属)の長穴部に自在バンド(現地調達)2本を通し、ポールに固定します。
- ③スピーカー本体および設置場所に、落下防止ワイヤーを取り付けます(7頁参照)。
- ④壁面に取り付けるのと同じ要領で、スピーカー本体を取り付けます(12、13頁参照)。



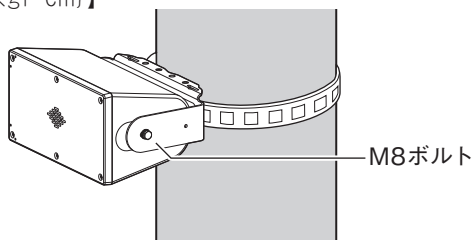
■横向きで取り付ける場合

- ①自在バンド(現地調達)を1本用意します。
- ②スピーカー取付金具をスピーカー本体から外し、スピーカー取付金具の長穴部に自在バンド(現地調達)1本を通して、ポールに固定します。
- ③スピーカー本体および設置場所に、落下防止ワイヤーを取り付けます(7頁参照)。



- ④一度取り外したスピーカーを、スピーカー取付金具に2ヶ所のM8ボルト、平座金、ばね座金で固定します。

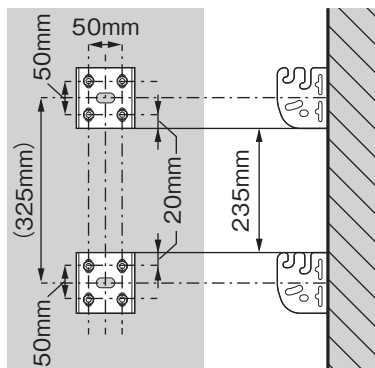
【推奨締付トルク: 12.5 N・m {127.5 kgf・cm}】



設置のしかた (2台隣接)

■軒下 (天井) 取付の場合

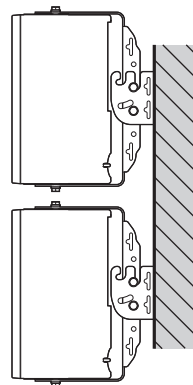
- ① 下図の取り付け寸法で、固定金具を取り付けます。



固定金具の取り付け寸法

- 下側、上側の順でスピーカーの取り付けを行います。

- ② 下側のスピーカーを、下向き角 0° で取り付けください (12頁参照)。
③ 上側のスピーカーも、下向き角 0° で取り付けください (12頁参照)。

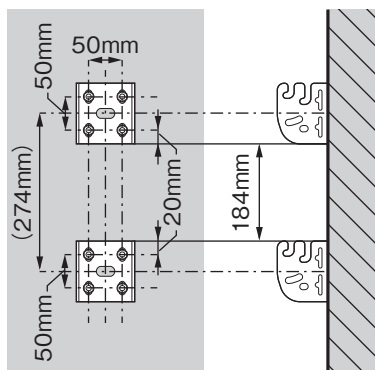


取付状態

■2台上下隣接取り付け (下向き角 5°) の場合

- 下向き角 5° で、2台のスピーカーの前面をそろえて設置することができます。

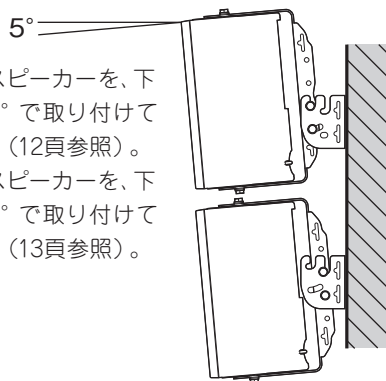
- ① 下図の取り付け寸法で、固定金具を取り付けます。



固定金具の取り付け寸法

- 下側、上側の順でスピーカーの取り付けを行います。

- ② 下側のスピーカーを、下向き角 5° で取り付けください (12頁参照)。
③ 上側のスピーカーを、下向き角 5° で取り付けください (13頁参照)。



取付状態

スピーカーケーブルの接続のしかた

- ・接続するアンプは必ずハイインピーダンス方式のものを使用してください。
- ・本機を2台以上接続する場合は、合成インピーダンスがアンプの許容負荷インピーダンス以下にならない台数にしてください。
または、本機の定格入力（インピーダンス500Ωの場合、20W）の合計がアンプの定格出力以下になる台数にしてください。
- ・アンプの電源スイッチを必ず「切」にしてから、本機を接続してください。
- ・接続する前に、必ず極性を確認してください。
極性を誤って接続すると、音量低下や明瞭な音を得られない原因となります。

- アンプからのスピーカーラインに、本機のスピーカーケーブルを接続します。
使用しないスピーカーケーブルは切断し、絶縁テープで1本ずつ確実に絶縁してください。



極性	スピーカーケーブル色
+	5W : 緑色
	10W : 赤色
	20W : 黒色
-	COM : 白色

■スピーカーケーブルの結線とその処理



① 接続：閉端接続子【例】CE1 (CE-100V)：日本圧着端子製】で圧着

- ・圧着端子、使用する線材は、適切なものをお選びください。
圧着端子は絶縁部がUL94V-0の難燃材でできたものをお選びください。
また、圧着工具も、使用する圧着端子、線材に適した専用工具をお使いください。

② 接続部の処理

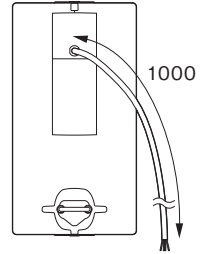
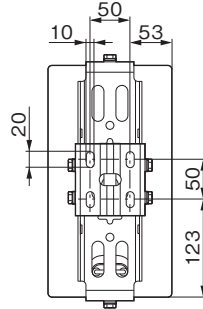
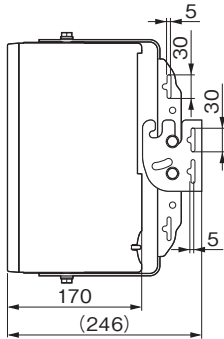
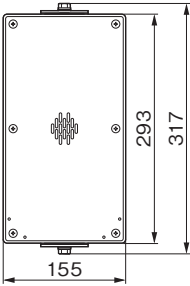
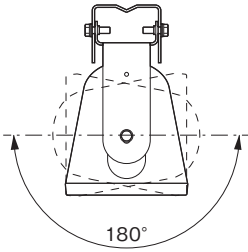
- ・必ずケーブル本体と結線部分が重なるように、防水用の自己融着テープを巻きつけ、その上に絶縁テープを巻きつけてください。
- ・端子付ジョイントボックスなどを使用される場合は、必ずねじなどの機械的固定を行う機器をお使いください。また使用の際は、機器の取扱説明書にしたがって確実に接続してください。

定 格

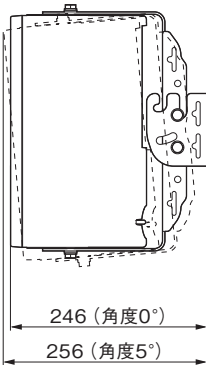
型 式	フルレンジ密閉形
定 格 入 力	20 W
入力インピーダンス	500 Ω (20 W) /1 kΩ (10 W) /2 kΩ (5 W) スピーカーケーブルにより切り替え
非 常 用 種 別	L級
音響パワーレベル	p=98 dB (1 W)
指向特性区分	X
出力音圧レベル	94 dB (1 W/1 m)
指 向 角 度	水平 約110° × 垂直 約40° (at 2 kHz -6 dB) (縦向き時)
再生周波数帯域	120 Hz~17 kHz (-20 dB)
使用温度範囲	-20°C ~ 55°C
防塵・防水性能	IPX4
外 装	エンクロージャー (前面パネル、キャビネット) : (PP樹脂) マンセルN1.5 近似色 黒色塗装 スピーカー取付金具、固定金具 : (ステンレス) 取付ねじ類 : (ステンレス)
寸 法	幅 155 mm 高さ 293 mm 奥行 170mm (スピーカー取付金具と固定金具含まず)
質 量	約4.4 kg (本体とスピーカー取付金具)、約0.4 kg (固定金具)
角度調整範囲	縦向き使用 水平 : 左右90° 垂直 : 下向き0° ~ 30° 横向き使用 水平 : 左右0° ~ 30° 垂直 : 下向き0° ~ 90° 軒下 (天井) 使用 垂直 : 下向き左右90°
付 属 品	六角ボルト (M8×20) 4、平座金 (M8) 4、ばね座金 (M8) 4、固定金具 1 UNI-PEXラベル 1、取扱説明書 (保証書付) 1

外觀寸法図 (単位:mm)

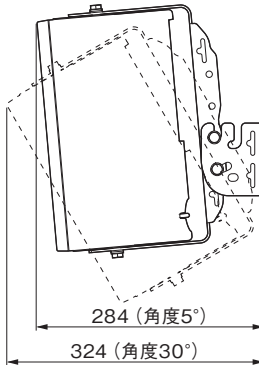
●固定金具をしっかり固定してください(取り付け用のボルトやナットは現地調達です。)



■0° ~ 5° の場合
奥側のU溝部と
長穴にて取り付け

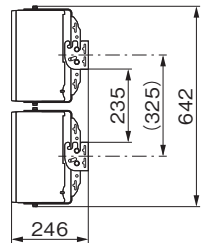


■5° ~ 30° の場合
手前側のU溝部と
長穴にて取り付け

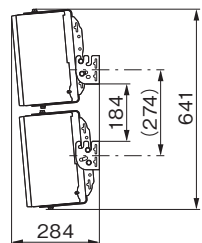


■2台隣接の場合

【角度0°】



【角度5°】



サポートのご案内

■ 修理・お取扱い・お手入れについてのご相談・ご依頼は、お買い上げの販売店にお申し付けください。

販売店に修理を依頼する場合は、下記の項目をお確かめください。

①品名 ②品番 ③お買い上げ日 ④故障の状況（できるだけ具体的にお願いします）

■ 販売店がご不明な場合は、最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。

営業所情報はホームページ
もしくは2次元コードに
アクセスしてください。
<http://www.unipex.co.jp>



■ その他ご不明な点は、お客様ご相談センターへご相談ください。

UNI-PEX お客様ご相談センター

0120-56-5245 通話料無料

受付時間/9:00~17:00(土・日・祝日除く)

携帯電話からのご利用は、

072-855-3334 (通話料がかかります)

【お客様の個人情報の取り扱いについて】

お客様ご相談センターにおけるお客様の個人情報は、ご相談対応、修理およびその確認に使用いたします。個人情報は適切に管理し、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供または開示いたしません。

防滴形コンパクトスピーカー CWS-20T

製造番号	
保証期間	お買い上げ日 年 月 日より 電子回路部1ヶ年、ケース(外装部)6ヶ月
お客様	お名前 見本 様 ご住所 〒 電話()
販売店	店名・住所 印 電話()

本書は本書記載内容で無料修理を行なうことを保証するものです。お買い上げの日から上記期間内に故障が発生した場合は本書を提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

製造元 **日本電音株式会社**

発売元 **ユニペックス株式会社**

〒573-1132 大阪府枚方市招提田近3-6 TEL:(072)855-3334(代)

保証書

保証規定

この保証書は日本国内においてのみ有効です。この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料で修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

(This warranty is valid only in Japan)

無料修理保証の範囲

- ①保証期間内において、取扱説明書などに従った正常な使用状態において故障した場合に無料で修理いたします。
- ②修理の際は必ず保証書の提示があること。
- ③当保証書の所定項目に必要な事項が記入され、故意に字句を訂正していないこと。

無料修理保証の免責範囲

(次のような場合は保証期間内でも有料修理となります。)

- ①使用上の誤り及びお取扱いの乱用などによる故障、磨耗。
- ②不当な修理改造による故障、損傷。
- ③正常なご使用でも、消耗部品の自然消耗、磨耗、劣化によるもの。
- ④お買上げ後の落下、傷など、お取り扱い上起因するもの。
- ⑤火災、水害、落雷、地震、その他の天災によるもの。また塩害、有毒ガス、異常電圧などが原因の損傷。
- ⑥故障の原因が本製品以外の機器の影響によるもの。
- ⑦常識的に正常な動作状態であるにもかかわらず、修理または部品交換などの要求をされる場合。

#KTCWS20T-H0-0